KIRARI
FUJIMI

2015
PROGRAM

宮澤賢治『ポラーノの広場』より

子どもはしばらくちゅうちょしていましたが、
とうとう思い切ったらしく云いました。
「ポラーノの広場。」
「ポラーノの広場？　はてな、聞いたことがあるようだなあ。
　何だったろうねえ、ポラーノの広場。」
「昔ばなしなんだけれども、このごろまたあるんだ。」
「ああそうだ、わたしも小さいとき何べんも聞いた。
　野はらのまんなかの祭のあるとこだろう。
　あのつめくさの花の番号を数えて行くというのだろう。」

……

つめくさ灯ともす　夜のひろば
むかしのラルゴを　うたいかわし
雲をもどよもし　夜風にわすれて
とりいれまぢかに　年ようれぬ

まさしきねがいに　いさかうとも
銀河のかなたに　ともにわらい
なべてのなやみを　たきぎともしつつ
はえある世界を　ともにつくらん

富士見市に数多くある縄文遺跡のひとつ「水子貝塚」の中央には、直径二百メートルほどの円形の広場が、竪穴住居跡や貝塚に取り囲まれるようにして広がっています。

かつてこの広場では、周辺の集落からも縄文人たちが集まって〈祭り〉がおこなわれていたと考えられています。

また水子貝塚は、縄文海進で関東平野の内陸にまで広がっていた海沿岸の集落群と、西側の山間部に点在した集落群との中間にあって、海の幸と山の資源が交易される縄文のネットワークの結節点となっていたようです。

ヒトやモノの流れにのって、多様な文化が出会い、交じりあった縄文のムラとその広場。キラリふじみが目指す〈新しい広場＝公共劇場〉の原点が、水子貝塚にあります。

Schedule

舞台芸術————レパートリーの創造・上演

	月	日	タイトル	情報掲載ページ
2015	4	25・26	私の子供=舞踊団 ソロシリーズ『イマダンス』	10
	6	4—7	キラリふじみ レパートリー 『絵のない絵本』	11
		27	キラリ☆風流寄席 ～“抱腹絶倒”笑いのフルコース!～	15
	8	29・30	私の子供=舞踊団 第4回公演	10
	9	10	演劇集団 円 橋爪功・夏の夜の朗読	8
	10	3・4	私の子供=舞踊団 ソロシリーズ『イマダンス』	10
		9—12	キラリふじみ・レパートリー新作 『奇想曲第58番』	7
	12	4—6	キラリふじみ レパートリー新作 日韓共同制作『颱風奇譚』タイフウキタン	4
		24	万作の会 狂言公演	15
2016	1	9	キラリふじみ・コンサートシリーズ ニューイヤーコンサート2016 トッパンホール アンサンブル公演 at キラリ☆ふじみ	13
		17	二兎社 書く女	6
		29・30	genre:Gray 人形演劇『モノ語り◇水仙月の四日』	9
	2	未定	キラリふじみ・コンサートシリーズ 矢野誠コンサート（仮）	12
	3	下旬	キラリ☆かげき団 オペラ公演	14
		25—27	東京デスロック Peace (at any cost?)	5

広場————市民文化の対流 ・ 扉————芸術に出会うとき

	月	日	タイトル	情報掲載ページ
2015	7	11・12	キラリふじみ サーカス・バザール	16・17
		27—8/2	キラリふじみ・ワークショップ 夏休みこども劇場 えんげきをつくろう	22
	8	15—19	キラリ☆ふじみ中高生美術展 （市内中学校美術部合同展を含む）	18
	9	19—25	2015公募 キラリ☆ふじみ陶芸展	18
	9月—2016.3月		キラリふじみ・ワークショップ 『街のフロッタージュ－ふじみのかたち－』（仮）	21
			キラリふじみ・フォーラム	23
	12	12・13	キラリ☆ダンスフェスティバル vol.13	18
		未定	キラリふじみ・ワークショップ ツナがる演劇。～中高生の最初の一歩～	22
2016	1	5—11	第14回 キラリ☆ふじみ書の大作展	18
		24	第14回 キラリ☆新春邦楽演奏会	19
	2	上旬	キラリ・ふじみ・リーディング 田上豊	21
		11	スタインウェイ演奏体験＆観覧	19
		19—24	第14回 キラリ☆ふじみ絵画大作展	18
		26—28	第14回 キラリ☆ふじみ華大作展	18
時期未定			キラリふじみ・リーディング 永井愛	21
通年			キラリふじみのアトリエ	20
			こどもステーション☆キラリ	22

スケジュールは変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページやチラシ等をご覧ください。

CONTENTS

キラリ☆ふじみ
2015年4月―2016年3月のディレクション 2

舞台芸術―――レパートリーの創造・上演 4

広場―――市民文化の対流 16

扉―――芸術に出会うとき 20

チケット購入方法について 24

交通のご案内／お問合わせ 25

催事スケジュール一覧 **表紙の内側**

メインホール客席図 **裏表紙の内側**

新しい広場＝公共劇場へ

人々が文化的に互いを触発しながら心豊かに暮らすことのできるまちをつくるためには、地域で育まれた文化資源がもつ“人と人を結び付ける力”が不可欠です。しかし今、地域の文化資源が担ってきた重要な役割は、外から入ってくる大量の情報や商品（モノ）に蔽い隠され、人々の目に映りづらくなっているように思えます。

ここ3年、キラリふじみは富士見市の文化的な財産に光をあて、その可能性を探り、活かすためのプログラムを市民とともに進めてきました。

昨シーズンでいうと、地域の歴史や現状に造詣が深い市民を講師として招いて、「自然とともに生きた縄文人」「みんなの食卓〜知ること・食べること」「富士見の農業と暮らしの歴史」「富士見における近代村の移り変わり」などの一連の講座を行いました。年末には、市内で個性的な農業を営む方々と共同で、シンポジウム「富士見の農業〜一粒の種から見えること」を企画しました。これらを通じて、長い歴史の中でこのまちに築かれてきた生活文化の根っこにあるものはなにかを考え、それを当館の活動に結びつける方法を模索しました。

今シーズン、こうしたプログラムをさらに積極的に推し進めていきます。〈子育て〉と〈地域づくり〉を劇場がリンクさせるアイデアを練るための市民フォーラム…市民が取材して、まちの映像作品を作るワークショップ…富士見の特産品をプロデュースして外部に発信する仕事…市内の他の文化施設と連携したイベントの計画づくり…等に取りくんでいきます。

もうひとつのハイライトは、5年目を迎える「レパートリーの創造と発信」の活動です。海外の劇場との初の本格的な共同制作となる『颱風奇譚 태풍기담』（ソン・ギウン作、多田淳之介演出）では、秋に韓国に滞在して創作初演し、その後、東京と富士見で上演します。一昨年、好評を博したダンスのレパートリー『絵のない絵本』（白神ももこ構成・振付・演出）を再演し、国内2都市へ巡演します。田上豊は新作を上演します。

地域の内外とネットワークを結び、多様な人とモノが交錯する中から誕生する“新しい広場＝公共劇場”、キラリふじみにどうかご注目ください。

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
館長　松井憲太郎

手を取り合う／争う私たちのイメージ

2015年は第二次世界大戦が終わって70年、あれから私たちにも様々なことが起きましたが、一体何が変わったのか、ということをよく考えます。変わらないのなら未来に何が残せるかということも。せめて未来に恥じない時代にしたいものです。

400年以上前のシェイクスピアの戯曲でも戦争、争いは絶えません。『ハムレット』は大義による争いに悩み、『ロミオとジュリエット』では家同士の争いから罪の無い若者達の悲劇が生まれます。
更に時代を遡り紀元前425年、今から2440年前のアリストパネスによるギリシャ喜劇『アカルナイの人々』では、戦争中に一人の男が自分の家だけで敵国と和平を結び、裏切り者と糾弾されながらも唯一交易可能な彼の家にだけ様々な人や物が行き交います。この話を下敷きにした作品を3月に上演するので楽しみにしていてください。そして2015年は1965年の日韓国交正常化から50周年でもあります。「赦し」の物語といわれるシェイクスピアの『テンペスト』を下敷きに久々にキラリふじみで創る日韓合作にもご期待ください。

有史以来人類は争いと共にあり、同時に芸術も争いと共にありました。あのジョン・レノンの名曲『イマジン』はこれまでいくつかの国で放送禁止になっています。芸術はそういう時代の憂き目にも遭って来ました。世界の人々が手を取り合い、争いが無くなることをイメージされると困る時代があったのでしょう。今はどうでしょうか？

いつの時代も芸術の役割はイメージを生むことだと思っています。私たちは個人、家庭、地域、国、様々な境界と隣合わせで生きています。争い続けるのも人間ならば、手を取り合ってきたのも人間です。イメージしてみてください、争うことを、手を取り合うことを、大切な人の気持ちを、大切ではない人の気持ちを。イメージした時の自分の気持ちとの出会いが芸術の豊かさです。イメージは自由です、正解もありませんが、イメージできないものもありません。時間も距離も越えてイメージが生まれる作品を、様々な自分に出会える場所をこれからも作りたいと思っています。

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
芸術監督　多田淳之介

キラリふじみ・レパートリー『奴婢訓』

キラリふじみ・レパートリー新作
日韓共同制作『颱風奇譚（たいふうきたん）』

原作 W.シェイクスピア『テンペスト』　**作** ソン・ギウン　**演出** 多田淳之介
舞台美術 島次郎　**照明** 岩城保
出演 チョン・スジ　小田豊　永井秀樹　大石将弘　山崎皓司　夏目慎也
マ・ドゥヨン　佐山和泉　チョ・アラ　伊東歌織　ほか

芸術監督のレパートリー創造の第４弾は、
日韓現代演劇のコラボレーション
チェーホフの『かもめ』に日韓の近代史を大胆に重ね合わせた劇作品『カルメギ』※で、両国の演劇界の話題をさらった劇作家ソン・ギウンと演出家の多田淳之介――。その二人が、シェイクスピアの名作『テンペスト（あらし）』を、波乱に満ちたアジアの近代化の幕開けを描く悲喜劇へと生まれ変わらせます。

時は20世紀初頭。国を追われた朝鮮の老王族イ・スンは、南シナ海に浮かぶ小島で王国の再建を夢見ながら暮らしている。ある日、自分を追いやった勢力の一人、甥のイ・ミョンと日本の政治家や軍人の一行が船で近くを通りかかると知ると、島に棲む空気の精に命じて颱風を巻き起し、一行を島へとおびき寄せる。自らの秘術で創りだす幻影の劇で彼らを懲らしめるうちに、事態は思わぬ方向に進みだし、やがて彼は歴史の表舞台から退場する日が自らに迫っていることを知る…。

キラリふじみで、古典や近現代の戯曲を「社会の鏡＝演劇のレパートリー」として甦らせ、日本の現代演劇に新たな地平を切り拓いてきた多田淳之介が、日韓二ヵ国の言語と文化と歴史を綯い交ぜにしながら、アジアで共に生きる〈私たちの今〉を演劇化します。

※2013年、ドゥサンアートセンターがプロデュース、東京デスロックと第12言語演劇スタジオの共同制作で上演。2014年に日本でも上演。第50回東亜演劇大賞（韓国）演出賞、作品賞等を受賞。

日程 12／4［金］～6［日］　**会場** マルチホール　**チケット取扱** キラリふじみ
《韓国公演》 安山（アンサン）アートセンター……10／16［金］～17［土］
南山（ナムサン）アートセンター……10／24［土］～11／8［日］
《東京公演》 東京公演……11／26［木］～29［日］
＊公演スケジュールは変更になる場合があります。詳細は決定次第、お知らせいたします。
共同制作 安山アートセンター、南山アートセンター
共催 独立行政法人国際交流基金　JAPANFOUNDATION 国際交流基金

CEREMONY

東京デスロック
Peace (at any cost?)

構成・演出 多田淳之介
出演 夏目慎也　佐山和泉　佐藤誠　伊東歌織　李そじん　鶴巻紬
原田つむぎ　松崎義邦

「地域密着、拠点日本」を掲げ海外や
日本各地で活動する東京デスロックの最新作
『Peace（at any cost?）』は、1945年から70年後の2015年8月に京都と香川で、2011年から5年が経過した2016年3月には青森と富士見で、「戦争」と「震災」から、現在を生きる私たちにとって「平和」とは何かを問いかけます。

人類史上「戦争」が無かった時代はありません。私たちの生活の中にも「争い」は常にあります。日々を「平和」に過ごしたいという私たちの願いはどこに向かうのか。

京都、香川、青森を経て富士見へ辿り着く、観客をも取り込んだ、今、ここで起きている演劇パフォーマンス。

日程 2016.3／25［金］～27［日］
会場 マルチホール
チケット取扱 キラリふじみ、東京デスロック
〈共催公演〉

芸術監督　多田淳之介 Tada Junnosuke

演出家、俳優。東京デスロック主宰。1976年生まれ、千葉県柏市出身。2010年4月より、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督に就任。俳優の身体、観客、劇場空間を含めた、現前＝現象をフォーカスした演出が特徴。古典から現代劇、パフォーマンス作品まで幅広く手がける。
「演劇LOVE」を公言し、地域、教育機関でのアウトリーチ活動も積極的に行い、韓国、フランスでの公演、共同製作など国内外問わず活動する。俳優としても他劇団への客演や、映画、TVドラマにも出演。2013年、日韓共同製作作品『가모메　カルメギ』で、韓国の演劇賞「第50回東亜演劇賞」を受賞。これまでのキラリふじみ・レパートリーに、『あなた自身のためのレッスン』（2011,2012）、『ハムレット』（2013）、『奴婢訓』（2014）がある。

黒木華／平岳大／木野花

二兎社

書く女

作・演出 永井愛
出演 黒木華　平岳大　木野花　ほか

日本初の女性職業作家 樋口一葉の半生。
24年の短い生涯で『たけくらべ』『にごりえ』などの名作を残した樋口一葉。
　一葉が綴った日記をもとに、小説の師・半井桃水への恋心や、さまざまな人々とのダイナミックな交流、自らの不遇の生涯さえも創作のエネルギーへと昇華させ、「書く女」として自立していった姿を永井愛が描きます。
　明治中期、生活のために作家を志す夏子（一葉）は、教えをうける先輩作家に淡い恋心を抱くが、根も葉もない噂のために恋を断念する。やがて作品の評価が上がり始め、一葉のまわりにはリベラルな作家や編集者が集まるようになる。折しも日本は日清・日露戦争をへて、アジアに進出しだした時代。庶民は強い日本を願い、国家のための文学が隆盛をきわめる。しかし一葉と家族の暮らしは一向に楽にならなかった…。
　2006年の初演で数々の賞を受賞した永井愛の話題作を新演出、新キャストで再演。全国ツアーに先駆けて、当館で初日の幕があがります。

日時 2016.1／17［日］午後2:00開演
会場 メインホール
チケット発売日 11月下旬予定
チケット取扱 キラリふじみ

©本間伸彦

アソシエイト・アーティスト　永井 愛　Nagai Ai

劇作家・演出家。二兎社主宰。身辺や意識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した、ライブ感覚あふれる劇作を続けている。日本の演劇界を代表する劇作家の一人として海外でも注目を集め、『時の物置』、『萩家の三姉妹』、『片づけたい女たち』、『こんにちは、母さん』など多くの作品が、翻訳・リーディング上演されている。
最近の作品に『鷗外の怪談』、『兄帰る』、『こんばんは、父さん』、『シングルマザーズ』、『かたりの椅子』、『歌わせたい男たち』、『書く女』、『やわらかい服を着て』、『パートタイマー・秋子』など。紀伊國屋演劇賞個人賞・鶴屋南北戯曲賞・岸田國士戯曲賞・読売文学賞・朝日舞台芸術賞秋元松代賞などを受賞。
◎2011年4月より、キラリふじみアソシエイト・アーティスト。

©青木司

キラリふじみ・レパートリー『Mother-river Homing』（2015年1月）

キラリふじみ・レパートリー新作

奇想曲第58番

作・演出 田上豊

想い出は輝くのか!?はたまた色あせるのか!?
幅広い世代から大きな反響を呼んで、3年間6都市で上演を重ねた『Mother-river Homing』の初演から4年、田上豊がいよいよ新たなレパートリーづくりに取り組みます。
　新作『奇想曲第58番』は、2011年に当館で上演した『合唱曲第58番』の姉妹編です。
　『合唱曲第58番』では、誰もが経験した懐かしい学び舎の日々から、輝かしい想い出や甘酸っぱい記憶を手繰りよせ、合唱曲のように様々な光景を折り重ね描きだしました。
　『奇想曲第58番』では、過ぎ去った時間とまだ見ぬ時間を、田上豊の遊び心に溢れた視点で織り合せ、奇々怪々のワンダーランドを創りだします。

「歴史はまず悲劇として演じられ、
　　次に喜劇として繰り返される」
それが本当ならば、今の社会やこれまでの社会はどのように描けばよいのだろうか。そのことを考える。
物語の手を借りるのか、不条理に表してみるのか、言葉を遮断して描くのか。まだ、そんなことは分からない。
ただし、自分の表現手段の真骨頂とも言えた「情」というものに頼るのは、今回は、よそう。だって、今の世の中は、ずいぶんと「非情」になってきているし。
別にそんな世の中を憂いたり、嘆こうとも思っていない。とはいえ、思わないところがないわけではない。
演劇は、社会を映す鏡。これに従うならば、ここは一発、アーティストらしく真っ向勝負しようじゃないか。
奇抜で、奇妙で、奇々怪々な底抜けに明るい追想劇にして。

田上豊

日時 10／9［金］～12［月・祝］予定
会場 マルチホール
チケット取扱 キラリふじみ

アソシエイト・アーティスト　田上豊　Tanoue Yutaka

劇作家、演出家。田上パル主宰。1983年生まれ。熊本県出身。桜美林大学文学部総合文化学科卒。映画監督を志し上京するも、大学で演劇と出会い、その楽しさを知る。卒業目前の2006年、田上パルを旗揚げ。その後、全作品の作・演出を務める。女子高生とのコラボレーション、市民劇団への書き下ろしなど、プロアマ問わず、創作を展開。キラリふじみでは、昨シーズン『Mother-river Homing』を再々演＆3都市ツアー（高知、兵庫、群馬）を行い、キラリふじみ・リーディングでは『夏の夜の夢』を演出した。田上パルは2008/4～2011/3の3年間、キラリンク☆カンパニーとしてキラリふじみを拠点に活動し、その間『改造☆人間』（2009年）『師走やぶれかぶれ』『新春やぶれかぶれ』（2010年）『ミートくん』『アンヒビオ』（2011年）を上演した。
◎2011年4月より、キラリふじみアソシエイト・アーティスト。

橋爪功・夏の夜の朗読『四谷怪談』・『藪の中』・『かわうそ』

演劇集団 円

橋爪功・夏の夜の朗読

演出 内藤裕子
出演 橋爪功

橋爪功がうみだす傑作ドラマの世界。
語りの名手であり、日本の現代演劇界屈指の名優・橋爪功による、キラリふじみのためのオリジナル朗読企画、第5弾です。

第4弾の昨シーズンは、今もなお色あせぬ存在として多くの人を魅了し続ける2人の作家、向田邦子の『かわうそ』と芥川龍之介の『藪の中』を取り上げ、その卓越した演技術で、日本の近現代小説を人間心理の迷宮を探るドラマとして蘇らせ、多くの観客を魅了しました。

第5弾となる今シーズンは、新たな演出家とタッグを組み、さらに円熟味を増した演技術で、たった一人の俳優の朗読とは思えない濃密でダイナミックな空間を創り出します。

ここでしか見ることのできない特別な夏の一夜をどうぞお見逃しなく。

日時 9／10［木］午後7:00開演
会場 メインホール
料金 一般3,000円
学生・シニア［65歳以上］2,000円
高校生以下1,000円
チケット取扱 キラリふじみ
チケット発売日 7／11［土］

これまでの朗読作品（演出：森新太郎）
2011年 芥川龍之介『杜子春』 筒井康隆『走る取的』
2012年 井伏鱒二『山椒魚』 筒井康隆『関節話法』
2013年 鶴屋南北原作 フジノサツコ脚本『四谷怪談』
2014年 向田邦子『かわうそ』 芥川龍之介『藪の中』

genre:Gray（ジャンルグレイ）

人形演劇 モノ語り◇水仙月の四日

原作 宮沢賢治
構成・演出 黒谷都
出演 北井あけみ 塚田次実 黒谷都 ほか
人形美術 渡辺数憲 北井あけみ
舞台美術 松沢香代

人形遣いの手によって、命を宿したモノたちが魅せる
「自然と人とのモノ語り」。
昨年、ロシアの人形演劇祭で異例の2作品同時にグランプリを受賞するなど、海外でも高い評価を受ける「genre:Gray」が、キラリふじみに初登場します。

春の訪れを告げる水仙の花が咲き出す頃、人をあざ笑うかのように起こる猛吹雪。そんな水仙月の四日に、二匹の雪狼（ゆきおいの）を引き連れた雪童子（ゆきわらす）が、雪原で赤い毛布をかぶった人間のこどもと出会う。

人間には見えない雪童子は、家路へ急ぐこどもに「やどり木の枝」を投げてからかっていた。そこに猫のような耳をもち、ぼやぼやした灰色の髪をした雪婆んご（ゆきばんご）が激しい吹雪を吹かせにやって来て…。

宮沢賢治の童話『水仙月の四日』を元に、人形やモノ、パフォーマーの身体や衣装を遣い「自然と人との営み」を描く、大人から子供まで幅広く楽しめる作品です。

美しくも儚げな、魅力溢れる「モノ語り」にぜひご注目ください。

日時 2016.1／29［金］～30［土］
会場 マルチホール
料金 一般3,000円
大学生2,000円
高校生以下1,000円
チケット取扱 キラリふじみ，genre:Gray
チケット発売日 9月初旬予定

【関連企画】
人形遣いとともに、身近なモノに触れて“手が考える”という体験を楽しむワークショップを開催します。
日程 1／31［日］（予定）
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

古民家頌『空気が転んだ!』←
第三回公演風景・ダンス『カラダのなかのコドモたち』→

私の子供=舞踊団

演出・構成 田中泯
演出助手 石原淋

カラダ・ウゴキ・コトバに正直になり、
自分の中に生き続ける「子供」と出会う。
2011年、ダンサー 田中泯とともに活動を開始した「私の子供=舞踊団」。参加者は、一人ひとりの中に存在するであろう「オドリ」について、真剣に考え話し合う時間を共有し、自分の中に生き続ける「子供」と出会っていく試みを続けています。市内でのパフォーマンス、年に一度のキラリふじみでの公演、そして東京のパフォーマンス・スペースplan-Bでのソロシリーズ『イマダンス』を上演します。

●ソロシリーズ『イマダンス』
日時 4／25［土］午後7:00開演
4／26［日］午後6:00開演

会場 plan-B［東京都中野区］

振付・出演 25［土］天野洋幸、黒田真史、渋谷雅子
26［日］安奈、諏訪一明、瀬口健作
料金 予約2,000円 当日2,500円
チケット取扱 plan-B http://i10x.com/planb/contactus
＊10／3［土］・4［日］も公演を予定しています。
詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

●第4回公演
日程 8／29［土］・30［日］時間未定
会場 マルチホール、カスケード

●パフォーマンス
日程 12月頃予定
会場 富士見市内
＊各公演の詳細は決定次第、
チラシやホームページ等でお知らせいたします。

© Shiho Ishihara

アソシエイト・アーティスト　田中泯 Tanaka Min

クラシック・バレエを学び、その後モダンダンスを学ぶ。その後、1966年からソロダンス活動開始。1977年に、海外での最初のデビューとして、パリ秋季芸術祭「日本の間」展に招待参加（磯崎新・武満徹プロデュース、ルーブル装飾美術館にて）。それ以後、日本のみならず世界各地で独舞、グループ作品の公演を行う。ダンサー田中泯の活動はダンスの領域をまた芸術と規定される表現分野を超えて、農業、即興音楽、オペラ、伝統芸能、伝統工芸、そして映画、と多岐にわたっている。1984年以後、土方巽に私淑。近年になり「舞踏は、もはや終わった。」と、この言葉の使用を拒否する。自身の踊りを「場踊り」と称し、名前のつけられない、説明の出来ない踊りを、皮膚の内と外との交換の中から求め続けるダンサーとして現在も活躍している。〔詳細はホームページをご覧ください。http://www.min-tanaka.com〕 ◎2011年4月より、キラリふじみアソシエイト・アーティスト。

©松本和幸

キラリふじみ・レパートリー
絵のない絵本

原作 ハンス・クリスチャン・アンデルセン
構成・振付・演出 白神ももこ
出演 尾崎桃子 小野彩加 尾花藍子 北川結
熊谷理沙 鈴木絢香 田路紅瑠美 花田雅美
夕田智恵 内海正考

世界一もの知りなお月さまが教えてくれる
世界をめぐるものがたり。
地球を巡る月が、夜ごと語りかける世界各地のものがたり。孤独な画家は、三十三夜にわたるお話を絵ではなく、手記に書きとめた。
　生涯旅を愛したデンマークの童話作家アンデルセンの連作童話『絵のない絵本』を題材に、アソシエイト・アーティストの白神ももこがつくる子どもと大人がともに楽しめるダンス作品です。
　2013年の初演時に幅広い世代から好評を博したこのレパートリー作品をキラリふじみでの再演を経て全国2都市で上演します。

●富士見公演
日時 6／4［木］～7［日］
6／4［木］・5［金］午後7:30開演
6／6［土］午後3:00開演
6／7［日］午後2:00開演
※7日はおやこ劇場貸切公演。
残席がある場合は当日券を販売致します。
会場 マルチホール
料金 一般2,500円 中・高校生1,000円
こども（小学生以下）500円
※3歳以下のお子様の入場はご遠慮ください。
チケット取扱 キラリふじみ
チケット発売日 4／18［土］
協力 志木おやこ劇場 朝霞おやこ劇場
新座おやこ劇場 広域おやこ劇場ひき北いるま

●東京・国立公演
日程 6／27［土］午後2:00開演
会場 くにたち市民芸術小ホール

●宮崎公演
日程 7／4［土］午後3:00開演
会場 メディキット県民文化センター
（宮崎県立芸術劇場）

© Masumi kawamura

アソシエイト・アーティスト　白神ももこ Shiraga Momoko

振付家・演出家・ダンサー。1982年、東京都生まれ。幼いころよりバレエを始める。その頃から続いたのはダンスだけでとくにぱっとしないまま今に至る。そのぱっとしない感が意図せず作品にしっかり投影されてしまうのが特徴。主宰する、ダンス・パフォーマンス的グループ モモンガ・コンプレックスでは全作品の構成・振付・演出を担当している。F/T 14では、美術家・毛利悠子や音楽家・宮内康乃らとストラヴィンスキーの『春の祭典』を手掛けた。また、木ノ下歌舞伎『義経千本桜』、ままごと『わが星』をはじめ演劇作品にも演出や振付で参加するなど活動は多岐にわたる。2008/4～2011/3の3年間、キラリンク☆カンパニーとしてキラリふじみを拠点に活動。2011年8月、キラリふじみ・レパートリー 劇場ツアー型パフォーマンス『モガっ!～記憶はだいたい憶測。』を上演。◎2011年4月より、キラリふじみアソシエイト・アーティスト。

キラリふじみ・コンサートシリーズ

矢野誠コンサート（仮）

音楽監督・作曲・ピアノ 矢野誠

矢野誠だけが紡ぎだせる最も美しい旋律。
幾重にも音を編み、あなたに語りかける。
70年代から日本の音楽シーンを切り拓いてきた矢野誠。
　昨年、自身が音楽監督を務めたコンサート『あむ』では、鳴り止まない拍手とアンコールがおこるほど、多くの聴衆を魅了しました。
　矢野誠の音楽の真髄。それは音と音、リズムとリズムを編むように奏で、幾重にもメロディーとリズムが織り重なったポリフォニー音楽の世界です。
　今回のコンサートでも、豪華ミュージシャンとセッションして、音を探求し続けてつくりだす新たな領域の音楽を届けます。
　ポップスからクラシック、ジャズ、現代音楽までも変幻自在に操る矢野誠の音楽をたっぷりとお楽しみください。

日程 2016.2月予定
会場 マルチホール
チケット取扱 キラリふじみ

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

アソシエイト・アーティスト　矢野誠 Yano Makoto

作曲家・編曲家・プロデューサー・ピアニスト。70年代初めより、鈴木慶一、細野晴臣、松本 隆、筒美京平らと活動。72年、いしだあゆみ、南 沙織、ブレッド＆バターなどの作・編曲者としてデビュー。以降、喜納昌吉、吉田美奈子、矢野顕子、南 佳孝、石川セリ、あがた森魚らを手がけ、新たな音楽シーンを開拓。井上陽水、岡林信康、ムーンライダーズ、ユニコーン、サニーデイサービス等、多くのアーティストのアレンジ・プロデュースを手がける。90年よりソロ活動を開始。99年に『あむ』、2000年に『あむ〜 Chorusing』を発表。2010年ひらたよーことのコラボアルバム『少年』を発売。2012年4月に、国吉良一とのキーボードDUO「ヤノクニ」を結成。2013年には「矢野誠＋こども」と題し、こどもが歌えるメロディーをテーマにライブ活動を行う。最新作に、ひらたよーこ＋矢野誠による『クレーの天使』がある。　◎2011年4月より、キラリふじみアソシエイト・アーティスト。

山根一仁／瀧村依里／原麻理子／上野通明／島田彩乃

キラリふじみ・コンサートシリーズ

ニューイヤーコンサート2016
トッパンホール アンサンブル公演 at キラリ☆ふじみ

出演 山根一仁（ヴァイオリン）
瀧村依里（ヴァイオリン） 原麻理子（ヴィオラ）
上野通明（チェロ） 島田彩乃（ピアノ）
企画 西巻正史（トッパンホール企画制作部長）
企画協力 トッパンホール

日程 2016.1／9［土］
会場 メインホール

曲目
J.S.バッハ
・無伴奏チェロ組曲第1番 ト長調 BWV1007
・無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番 ニ短調 BWV1004より シャコンヌ
モーツァルト
・ヴァイオリン・ソナタ第25番 ト長調 K301（293a）
シューマン
・《子供の情景》Op.15より〈トロイメライ〉
・ヴィオラとピアノのための作品（曲目未定）
・ピアノ五重奏曲 変ホ長調 Op.44

旬の演奏家たちと寿ぐ麗しい新年の幕開け！
トッパンホールのプロデューサー西巻正史がキラリふじみのために企画する、オリジナルのクラシック・コンサート。4回目となる今回は、今注目を集める若手の音楽家たちによるアンサンブル公演です。
　優れた室内楽の作品を、厳選したメンバーで、徹底したリハーサルを経て世に送り出し、これまでも好評を博してきた〈トッパンホール アンサンブル〉が、キラリふじみのステージにもやってきます。
　〈トッパンホール アンサンブル〉は、メンバーを固定せず、プログラムのコンセプトにあわせてその都度メンバーを選んで構成することで知られていますが、今回のメンバーは、キラリふじみでも人気の、おなじみ山根一仁（ヴァイオリン）、島田彩乃（ピアノ）、原麻理子（ヴィオラ）をはじめ、瀧村依里（ヴァイオリン）と上野通明（チェロ）という若手実力者が集った精鋭のメンバーたち。前日に予定されているトッパンホール公演とは、まったく異なるプログラムで、聴きごたえたっぷりのコンサートをお贈りします。

【関連プログラム】
公演以外にもコンサートを創りあげるプロセスを市民が一緒に楽しむことができたり、アーティストと身近に触れ合うことができる、豪華で欲張りなプログラムを予定しています。
・演奏家を目指す人たち向けのレクチャー
・ピアノを学ぶ青少年向けのレクチャー など

＊公演及び関連プログラムの詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

©吉岡茂
第9回公演オペラ『ピノッキオ』(2015年3月)

キラリ☆かげき団
オペラ公演

監修・指導 オペラシアターこんにゃく座
出演 キラリ☆かげき団

市民の公募によって結成された
キラリ☆かげき団。
幅広い年代のメンバーが集い、オペラシアターこんにゃく座の指導で、演技の稽古と歌のレッスンに励んでいます。

結成10年目を迎える今年も、市民だからこそできる表現で、地域の人たちに一層の活力をあたえる作品づくりを目指し、今回も力いっぱい挑みます。

毎年新たな目標にむかって進化し続けるキラリ☆かげき団の公演をどうぞお見逃しなく。

日程 2016.3月下旬
会場 マルチホール
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

●団員を募集しています。
稽古見学も可能です。
当館までお問合せください。

桂文三／宮田陽・昇
マジックジェミー／三笑亭可女次

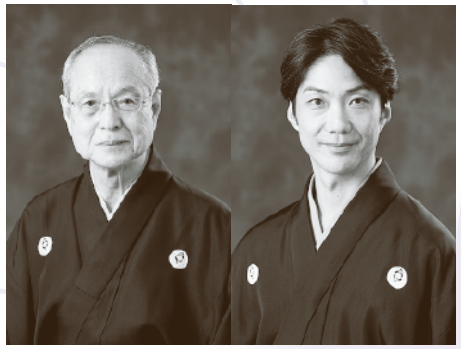
キラリ☆風流寄席
～“抱腹絶倒”笑いのフルコース!～

出演 桂文三(落語) マジックジェミー(マジック)
宮田陽・昇(漫才) 三笑亭可女次(落語)

市民が創る、オリジナル寄席
江戸の庶民の娯楽だった寄席の伝統を絶やさずに繋いでいくという思いで、「キラリふじみ事業運営サポート委員会」の市民メンバーが企画する、オリジナリティあふれる寄席です。番組構成や風情あふれる会場づくりで、市民の観客に親しまれています。

13回目を迎える今回は、落語はもちろんのこと、マジックや漫才と、盛りだくさんの番組でお贈りします。

日時 6／27［土］午後5：30開演
会場 マルチホール
料金 2,500円
※身体障害者手帳をお持ちの方
2,000円(電話・窓口のみ)
チケット取扱 キラリふじみ
チケット発売日 4／11［土］


野村万作／野村萬斎

万作の会
狂言公演

出演 万作の会

至芸の狂言師たちが織り成す
伝統芸能の神髄。
毎回大好評をいただいている、人間国宝・野村万作が率いる「万作の会」による狂言公演です。

6年目を迎える今回も、至芸の狂言師たちが創意工夫を凝らした番組づくりで、狂言の魅力をあますことなくお届けします。

初めてのご観劇でも狂言の世界に親しんでいただけるよう、上演前には演目についての「解説」がございます。

見どころ、聴きどころ満載の伝統芸能の世界をご堪能ください。

日時 12／24［木］午後7:00開演
会場 メインホール
チケット取扱 キラリふじみ
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

これまでの番組
2010年 素囃子 神舞『末広かり』『悪太郎』
2011年 『節分』『柑子』『小傘』
2012年 素囃子 神舞『福の神』『釣針〈囃子入り〉』
2013年 『川上』『首引』
2014年 『蚊相撲』『舟渡聟』

キラリふじみ

サーカス・バザール

舞台美術＋空間デザイン 島 次郎
サーカス構成 アフタークラウディカンパニー
舞台監督 白石英輔

ひと夏ごとに盛り上がりを増す、感動と興奮の2日間！

「ひと・アート・コミュニティ」の3つの力が融合したら、いつもと異なる地域との出会いの場が、キラリふじみに生まれる。「地産地消」を合言葉に、市内の農作物や特産品をあつかうバザールの中で、日本全国、そして世界から集まったサーカスや大道芸の芸人たちが多種多彩なパフォーマンスを繰りひろげます。

　親子連れや友だち同士で、広々としたキラリふじみの空間でアートや地域の魅力に触れながら、新しい出会いと発見ができるイベントです。夏の始まりの夢の2日間、「ひと・アート・コミュニティ」の魅力が満載のイベントをどうぞお楽しみください！

日時 7／11［土］・12［日］
　　両日ともに午前10：00－午後3：00
会場 キラリふじみ全館
入場無料 ※一部、有料のイベントがあります

バザールのイベント

「地産地消」を合言葉に、市内や近隣から農業や商店などの人たちが集まって、旬の野菜、地元の食品や料理、珍しい工芸品など、富士見特産の品々を販売したり、親子で楽しめるイベントを開催します。新鮮な野菜を試食したり、遊びを体験したり、お店の人たちと交流しながら、知らなかった地域の魅力に触れられる、素敵な時間と空間を用意してお待ちしています。

サーカスのイベント

かぼちゃサーカス団のパフォーマンス（無料）
サーカス・バザールではすっかりお馴染みとなった『かぼちゃサーカス団』。新しいメンバーも参加して、水上ステージや館内のいたる所で、サーカスや大道芸のパフォーマンスを繰りひろげます。見ているみんなを笑顔にする、楽しさと驚きがいっぱいの異次元空間へ皆様をお誘いします。

●手作り人形パレード ●パントマイム ●クラウン ●ジャグリング ●アクロバット ●シガーボックス ●デビルスティック ●玉乗りなど

メインホールでのサーカスショー（有料）

世界で活躍するロックダンスユニット『Hilty & Bosch』が登場！ジャズ・ファンク・バンド『ブラックエレファンツ』の生演奏や空中芸を交えたサーカスアクロバットと、ファンキーでグルーヴィーなショーを繰り広げます。

日時 7／11［土］午後2：30開演
　　7／12［日］午後12：30開演
会場 メインホール
料金 一般1,000円 中学生以下 500円
チケット発売日 5／23［土］
チケット取扱 キラリふじみ

ジャグリングワークショップ（有料）

児童を対象にしたワークショップを開催します。この機会でなければ体験できないサーカス芸に、プロの指導を受けながら挑戦できます。

日時 7／11［土］・7／12［日］
　　両日ともに午前11：30開始
　　※ワークショップは約30分です。
料金 500円（当日支払）
対象 小・中学生
定員 各回20名（申込順）
申込開始 5／23［土］より
申込 直接来館または電話、オンライン申込にて

展示プログラム

キラリふじみの展示プログラムは、中高生による美術、市民による陶芸・書・絵画・華の活動の成果を発表する場です。

ゆったりとした空間を持つキラリふじみの展示室の特徴を活かして、“大作”にこだわってきた展覧会です。

市民の力作と大作で、皆様をお迎えします。

- **キラリ☆ふじみ中高生美術展**
  （市内中学校美術部合同展を含む）
  8／15［土］―19［水］

- **2015公募　キラリ☆ふじみ陶芸展**
  9／19［土］―25［金］

- **第14回キラリ☆ふじみ書の大作展**
  2016.1／5［火］―11［月・祝］

- **第14回キラリ☆ふじみ絵画大作展**
  2016.2／19［金］―24［水］

- **第14回キラリ☆ふじみ華大作展**
  2016.2／26［金］―2／28［日］

＊会期は変更になる場合がございます。

キラリ☆ダンスフェスティバルvol.13

市内や近隣で活動する様々なジャンルのダンスグループが、キラリふじみに集まります。

出演する側、鑑賞する側、どちらでもご参加いただける市民が創るダンスの祭典です。

日程　12／12［土］・13［日］
会場　メインホール
参加団体募集期間
5月中旬～7月上旬予定

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

第14回 キラリ☆新春邦楽演奏会

伝統音楽“邦楽”を大切に未来につなげていこうと、市内や近隣で活動する団体で続けてきた恒例の演奏会です。琴、尺八、三絃などの伝統楽器でゆかしい楽の音を奏でる新春の企画。プロの奏者によるゲストコーナーや、全出演者とゲストの合奏など、盛り沢山の内容でお贈りします。

日程　2016.1／24［日］
会場　メインホール

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

スタインウェイ演奏体験＆観覧

毎回好評を博している、キラリふじみのピアノ“スタインウェイ”の演奏体験。

10分間のピアノコンサートや大好きな曲を気の向くままに演奏するなど、いろいろな楽しみ方でスタインウェイを満喫してください。

演奏体験の方も、観覧の方も、どうぞ気軽にご参加ください。

日程　2016.2／11［木・祝］
会場　メインホール
料金　無料

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

キラリふじみの共催プログラム［　］内は主催団体

- **ピースフェスティバル**
  ［富士見市／富士見市教育委員会／ピースフェスティバル実行委員会］
- **サマーコンサート**
  ［富士見市音楽連盟］
- **富士見うたごえフェスタ♪**
  ［富士見うたごえフェスタ実行委員会］
- **富士見市民文化祭**
  ［富士見市民文化祭実行委員会］
- **素踊りの会**
  ［富士見市日本舞踊連盟］
- **地域住民のためのコンサート**
  ［富士見市］
- **第8回富士見市学校吹奏楽祭**
  ［NPO法人日本アーツセンター］
- **キラリ☆ふじみ写真展**
  ［キラリ☆ふじみ写真展実行委員会］
- **富士見市学校音楽鑑賞会**
  ［富士見市教育研究会音楽部］
- **小中学校児童生徒美術展**
  ［富士見市教育研究会図工・美術部会］
- **中学校校内合唱コンクール**
  ［市内中学校］

『はじめての能楽ワークショップ〜仕舞と謡を体験しよう〜』↖
『みんなの食卓〜知ること・食べること〜』↗
『演劇百貨店のおはなし百貨店』↙
『矢野誠ロビーコンサート』↘

キラリふじみのアトリエ

みんなで話す・考える。
地域文化と舞台芸術、人と人の出会いの場がここにある。

「キラリふじみのアトリエ」では、アーティストや専門家、地域で活動する市民をスピーカーとして招き、舞台芸術や地域における様々なテーマに焦点をしぼって、レクチャーやフォーラム、またワークショップを展開します。

1時間半〜2時間程の「アトリエ」のなかでは、疑問や興味がわいてくれば、その場で質問したり、スピーカーや他の参加者とともにディスカッションすることができます。

「アトリエ」に集まったアーティストや市民は、それぞれの立場や専門性の垣根を越えて一緒にテーマについて考えを深めていき、各回の終わりには必ず新たな発見や多くの出会いが生まれます。

地域に生まれる対話の広場「キラリふじみのアトリエ」に、どうぞ奮ってご参加ください。

今シーズンのアトリエの予定

- 演劇、ダンス、音楽を楽しむヒントを聴いたり、実際に体験できるワークショップを行います。
- 地域で様々な活動を行う市民の方を招き、講座、フォーラム、ワークショップを行います。

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

キラリふじみ・リーディング『夏の夜の夢』

キラリふじみ・リーディング

“戯曲を読む”ことを通じて、舞台芸術の奥深い世界へ触れてみませんか?
当館のアソシエイト・アーティストである永井愛と田上豊が、それぞれ市民と共にリーディング作品を創ります。演技経験のある方もない方も、この機会に是非ご参加ください。

演出 永井愛 田上豊

日程 稽古、リーディング公演
永井愛……時期未定
田上豊……2016.2月上旬予定

会場 マルチホールほか

参加条件 全日程に必ず参加できること。

＊出演者募集と公演の詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

過去の上演作品

2011
『歌わせたい男たち』(作・演出:永井愛)
『かたりの椅子』(作・演出:永井愛)
2012
『ら抜きの殺意』(作・演出:永井愛)
2013
『兄帰る』(作・演出:永井愛)
『胸騒ぎの放課後』(作:金杉忠男　演出:田上豊)
2014
『夏の夜の夢』(原作:ウィリアム・シェイクスピア
演出:田上豊)

キラリふじみ・ワークショップ

街のフロッタージュ
—ふじみのかたち—(仮)

企画・進行 岡本和樹(映像作家)

それぞれの目に映る富士見のまち、ひと。
綴られた映像から新しい富士見が浮かび上がる。
ドキュメンタリーの映像作家 岡本和樹さんが進行する、富士見のまち、ひとに焦点をあてた映像制作ワークショップです。

参加者は市内のさまざまな場所でインタビュー撮影をします。ワークショップではそれぞれが撮った映像をもとにディスカッションを繰り返し、そこから浮かぶ新たな富士見の姿を素材に、オリジナルのドキュメンタリー映像作品をつくり上映します。

日程 9月〜2016.3月(15回程度を予定)

会場 マルチホールほか

【関連企画】
- トークイベント『映像作家・岡本和樹の目に映った富士見(仮)』
- 上映会終了後のトークセッション

＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

キラリふじみ・ワークショップ
夏休みこども劇場
えんげきをつくろう

企画・進行　特定非営利活動法人 演劇百貨店

夏休みの7日間、
みんなのカラダとアタマとココロを使って、
「演劇」と「思い出」づくりにチャレンジ
してみよう!
小学3年生から6年生を対象とした、7日間の演劇ワークショップです。
　こども達の中から生まれる自由な発想と豊かな感性を、「演劇」を使って形にしていきます。最終日にはワークショップの成果を発表します。出会いと発見の7日間。
ご応募お待ちしています。

日時　7/27［月］— 8/2［日］
対象　小学3年生〜6年生
定員　20名程度（応募者多数の場合は抽選）
参加費　2,000円
申込方法　専用の申込用紙に必要事項を記入の上、直接来館、郵送またはFAXにて
申込開始　5/9［土］
申込締切　7/7［火］必着
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

キラリふじみ・ワークショップ
ツナがる演劇。
〜中高生の最初の一歩〜

企画・進行　特定非営利活動法人 演劇百貨店

どこで・だれと・どうやってツナがる?
演劇づくりを通してたくさんの人、アイディア、場所とつながろう。新しいコトと出会ったら、一人では思いつかなかったことが次々と見えてくる!
　演劇づくりを通して、未来へツナがる扉を開いてみませんか? 冬休みに行う、中高生を対象とした演劇ワークショップです。

日程　12月下旬予定
対象　中学生・高校生、または
　　それと同等の年齢の方
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

こどもステーション☆キラリ

企画・進行　多田淳之介

今日は芸術監督と一緒にどんな楽しい遊びをするのかな。キラリふじみでは、多田芸術監督が毎月1つのテーマをもとに、こどもたちといっしょに「遊び場」を創ります。
　遊びを通じて、「表現する楽しさ」や「一緒につくる楽しさ」に出会う場です。

日時　4/4［土］、5/16［土］、6/20［土］、7/18［土］
　　午前10：00〜午後12：00
※8月以降も月1回を目安に活動を行います
対象　小学生　**定員**　15名（申込順）
持ち物　動きやすい服装、飲み物、タオル、帽子
参加費　無料　**集合場所**　市民ラウンジ
申込方法　直接来館または電話、オンライン申込にて
申込開始　各回、前月の10日頃
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

キラリふじみ・ワークショップ
アウトリーチプログラム

キラリふじみでは開館以来、市内の小中学校や高校にむけて、演劇、ダンス、伝統芸能のワークショップをアウトリーチプログラムとして行ってきました。今シーズンも、キラリふじみの芸術監督やアソシエイト・アーティスト、そして伝統芸能の演者たちが、多彩なプログラムを携えて学校へと出かけていきます。

アウトリーチプログラムの一例

● **多田淳之介芸術監督による**
中学校、高校での演劇ワークショップ
［これまで実施したプログラム］
・ 三島由紀夫の「葵上」（『近代能楽集』）を題材にした演劇ワークショップ
・ 太宰治『走れメロス』を題材にした演劇ワークショップ

● **劇作家平田オリザによる**
小学校での演劇ワークショップ
小中学校の国語の教科書に採り入れられたモデル授業「対話劇をつくろう」（平田オリザ作）に基づく演劇ワークショップです。

● **能楽師による能楽ワークショップ**
能楽の成り立ちについてのわかりやすい解説や、初歩的な実践を交えて、能の楽しみ方を体験するワークショップです。

● **万作の会による狂言ワークショップ**
基本的な所作や発声法を体験し、狂言の楽しみ方に触れるワークショップです。最後に狂言の小品を鑑賞します。

キラリふじみ・フォーラム

日頃から「まちづくり」や「ひとづくり」に繋がる様々な活動を行っている市民やグループと協働して、地域づくりに欠かすことのできないテーマをもとにフォーラムを行います。
　昨シーズン開催した‘地域の歴史’や‘生活文化’をテーマにしたレクチャーを発展させ、今シーズンは、「子育て」や「地域づくり」をテーマとして取り上げます。
そこで、参加者はそれぞれの活動内容とその目標、課題などを共有し、活動の広がりを見出していきます。
参加者だけでなく会場全体でアイディアを出し合う“市民一人ひとりの心豊かな生活と活力あるまちづくり”のための交流の場です。

フォーラムのテーマ

● 子どもと地域文化

● 公立文化施設の連携

日程　9月〜2016.3月（予定）
会場　マルチホールほか
＊詳細は決定次第、チラシやホームページ等でお知らせいたします。

チケット購入方法について

1 富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ

窓口販売――当館事務室にて販売　受付時間9:00–21:00
電話予約――TEL 049–268–7788　受付時間9:00–22:00
オンライン予約――http://www.kirari-fujimi.com/

発売開始初日について

● 窓口販売―― 9：00より　● オンライン予約―― 10：00より　● 電話――発売2日目より
※公演によって、購入枚数を制限する場合がございます。

支払・引取り方法

チケットの支払い・引取り方法は下図の通りです。

申込方法	支払方法	引取り方法	各種手数料
窓口	現金	手渡し	なし
電話・インターネット	窓口来館・現金	手渡し	なし
	コンビニ支払	コンビニ発券	・発券手数料：108円 ／ 1枚
			・決済手数料：162円 ／ 1件
	振込	郵送	・振込手数料
			・郵送料 簡易書留（税込チケット代金5万円まで） 310円＋郵送料92円＝402円
インターネットのみ取扱	クレジットカード（VISA、Master、JCB）	コンビニ発券，手渡し	・発券手数料：108円 ／ 1枚

口座振込

お振込される場合は下記口座にお願いいたします。
埼玉縣信用金庫 鶴瀬支店 普通預金 6012741　口座名義 公益財団法人キラリ財団

2 各種プレイガイド

公演によっては各種プレイガイドでのお取扱いもございます。
各公演情報をご参照ください。

主催公演には下記サービスがございます。
［一部対象外の公演もございます。 チラシ、ホームページ等をご覧ください］

● **託児サービス――**小さなお子様を、開場時間より終演時までお預かりいたします。
対象：1歳以上未就学児［要予約・有料・定員あり］

● **臨時バスサービス――**夜間公演の終演後キラリふじみ正面玄関前から
鶴瀬駅東口直行臨時バスを運行します。［有料・170円／予約不要］

● **身体障がい者割引サービス――**身体障害者手帳をお持ちの方を対象にした
チケット料金を設けています。［窓口のみの取扱い］

交通のご案内

最寄駅

東武東上線「鶴瀬」駅。

鶴瀬駅までの交通機関は右図をご覧ください。

鶴瀬駅から当館まで

- **徒歩**：約 25 分。

駅からの道のりは右図参照

- **市内循環バス**：鶴瀬駅東口より乗車、「富士見市役所」下車、徒歩 1 ～ 2 分。

※バスは鶴瀬駅となりの「みずほ台」「ふじみ野」駅からも出ています。詳細は当館ホームページよりバス時刻表をご参照ください。

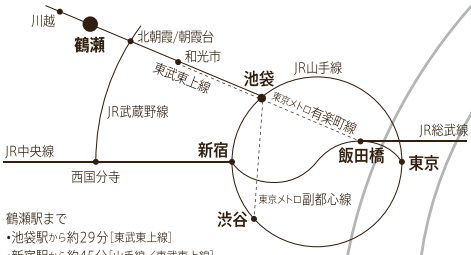
- **東武バスウェスト**：鶴瀬駅東口、みずほ銀行手前の暫定広場より「ららぽーと富士見行き」乗車、「富士見市役所前」下車、徒歩 2 ～ 3 分。

- **タクシー**：鶴瀬駅東口より約 8 分

車利用の方

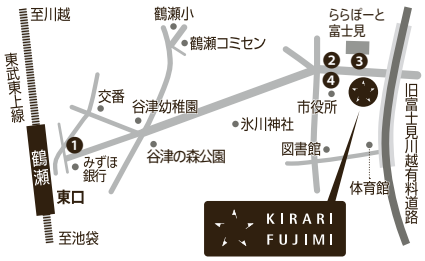
国道 254 号バイパス（旧富士見川越有料道路）
富士見市役所 IC そば。
[無料駐車場あり]

都内から鶴瀬駅まで



鶴瀬駅まで
- 池袋駅から約29分［東武東上線］
- 新宿駅から約45分［山手線／東武東上線］
- 渋谷駅から約55分［東京メトロ副都心線ー東武東上線直通］
- 飯田橋駅から約45分［東京メトロ有楽町線ー東武東上線直通］
- 東京駅から約55分［東京メトロ丸ノ内線／東武東上線］

鶴瀬駅から



東武バス
❶鶴瀬駅東口
❷富士見市役所前（降車）
❸ららぽーと富士見
❹富士見市役所前（乗車）

お問合せ

公益財団法人キラリ財団
富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
[開館時間 9:00～22:00]

〒 354-0021
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1
TEL 049-268-7788［9:00～22:00］
FAX 049-268-7780
ホームページ http://www.kirari-fujimi.com/

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
2015 年度 年間プログラム

発行日 2015 年 4 月 1 日

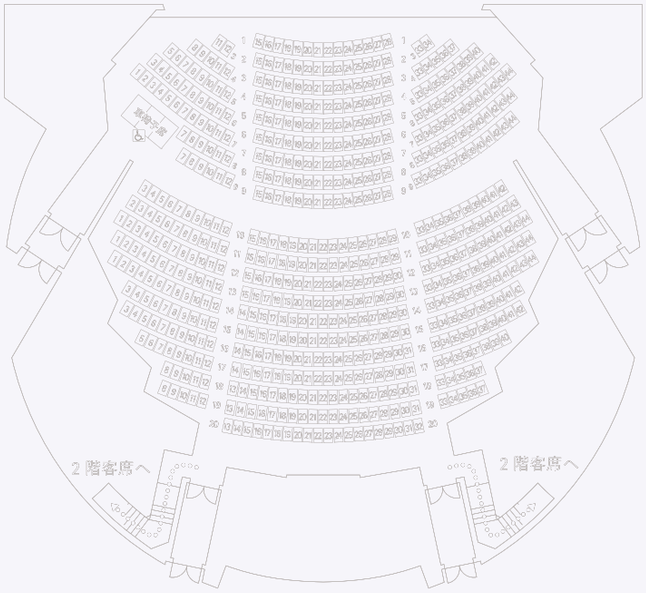
編集・発行 公益財団法人キラリ財団
〒 354-0021
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1
TEL 049-268-7788

デザイン 松井雄一郎［miburi］
印刷 山田写真製版所

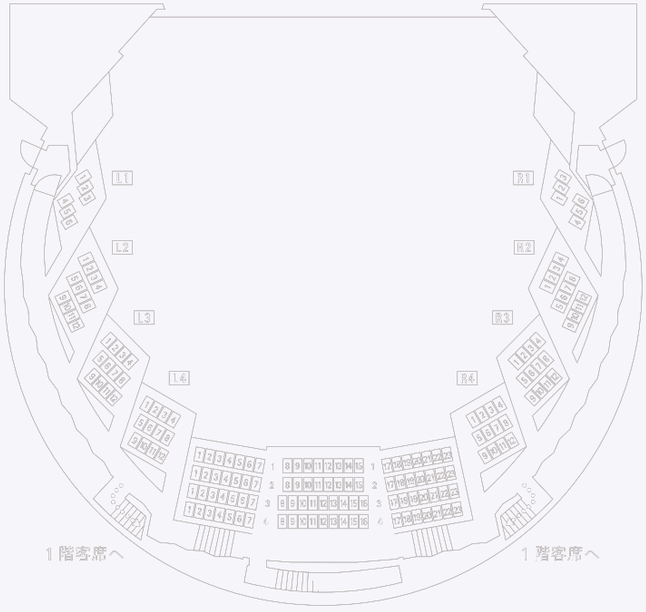
禁無断転載

メインホール
客席配置図

1 F



2 F



＊ホールには、磁気誘導ループ等を使用した聴覚補助システムがございます。
　ご利用の際は、事務室までお問い合わせください。

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ

芸術監督
多田淳之介

館長
松井憲太郎

副館長
紅林泉好

事業担当リーダー
矢野哲史

事業担当
中出千尋
都築　彩

管理担当リーダー
羽石千秋

管理担当
栁田典昭
磯野美穂

受付スタッフ
掃部泰子
沢田加代子
八巻法子
三ツ木節子
川堀翔平
高橋智子
梶山延子

舞台
藤原淳一
照明
井口眞

公益財団法人キラリ財団

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ

管理・運営　公益財団法人キラリ財団

交通のご案内

最寄駅

東武東上線「鶴瀬」駅。

鶴瀬駅までの交通機関は右図をご覧ください。

鶴瀬駅から当館まで

- **徒歩**：約 25 分。

駅からの道のりは右図参照

- **市内循環バス**：鶴瀬駅東口より乗車、「富士見市役所」下車、徒歩 1 ～ 2 分。

※バスは鶴瀬駅となりの「みずほ台」「ふじみ野」駅からも出ています。詳細は当館ホームページよりバス時刻表をご参照ください。

- **東武バスウェスト**：鶴瀬駅東口、みずほ銀行手前の暫定広場より「ららぽーと富士見行き」乗車、「富士見市役所前」下車、徒歩 2 ～ 3 分。
- **タクシー**：鶴瀬駅東口より約 8 分

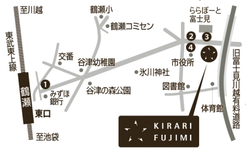
車利用の方

国道 254 号バイパス（旧富士見川越有料道路）
富士見市役所 IC そば。
［無料駐車場あり］

都内から鶴瀬駅まで

鶴瀬駅まで
- 池袋駅から約 29 分［東武東上線］
- 新宿駅から約 45 分［山手線／東武東上線］
- 渋谷駅から約 55 分［東京メトロ副都心線→東武東上線直通］
- 飯田橋駅から約 45 分［東京メトロ有楽町線→東武東上線直通］
- 東京駅から約 55 分［東京メトロ丸ノ内線／東武東上線］

鶴瀬駅から



東武バス
❶鶴瀬駅東口
❷富士見市役所前（降車）
❸ららぽーと富士見
❹富士見市役所前（乗車）

お問合せ

公益財団法人キラリ財団
富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
［開館時間 9:00 ～ 22:00］

〒 354-0021
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1
TEL 049-268-7788［9:00 ～ 22:00］
FAX 049-268-7780
ホームページ http://www.kirari-fujimi.com/

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
2015 年度 年間プログラム

発行日 2015 年 4 月 1 日

編集・発行 公益財団法人キラリ財団
〒 354-0021
埼玉県富士見市大字鶴馬 1803 番地 1
TEL 049-268-7788

デザイン 松井雄一郎［miburi］
印刷 山田写真製版所

禁無断転載

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
管理・運営 公益財団法人キラリ財団

KIRARI FUJIMI

2015 PROGRAM

宮澤賢治『ポラーノの広場』より

子どもはしばらくちゅうちょしていましたが、
とうとう思い切ったらしく云いました。
「ポラーノの広場。」
「ポラーノの広場？　はてな、聞いたことがあるようだなあ。
　何だったろうねえ、ポラーノの広場。」
「昔ばなしなんだけれども、このごろまたあるんだ。」
「ああそうだ、わたしも小さいとき何べんも聞いた。
　野はらのまんなかの祭のあるとこだろう。
　あのつめくさの花の番号を数えて行くというのだろう。」

……

つめくさ灯ともす　夜のひろば
むかしのラルゴを　うたいかわし
雲をもどよもし　夜風にわすれて
とりいれまぢかに　年ようれぬ

まさしきねがいに　いさかうとも
銀河のかなたに　ともにわらい
なべてのなやみを　たきぎともしつつ
はえある世界を　ともにつくらん

富士見市に数多くある縄文遺跡のひとつ「水子貝塚」の中央には、直径二百メートルほどの円形の広場が、竪穴住居跡や貝塚に取り囲まれるようにして広がっています。

かつてこの広場では、周辺の集落からも縄文人たちが集まって〈祭り〉がおこなわれていたと考えられています。

また水子貝塚は、縄文海進で関東平野の内陸にまで広がっていた海沿岸の集落群と、西側の山間部に点在した集落群との中間にあって、海の幸と山の資源が交易される縄文のネットワークの結節点となっていたようです。

ヒトやモノの流れにのって、多様な文化が出会い、交じりあった縄文のムラとその広場。キラリふじみが目指す〈新しい広場＝公共劇場〉の原点が、水子貝塚にあります。

催事スケジュール一覧